

第151回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部部会会議録	日時	令和5年2月14日(火) 10:30~10:55	場所	議場
出席者	白井市長、大熊教育長、天野企画財政部長、藤本庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、西田市民部長、柿崎環境部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、梅原生涯学習部長、北村議会事務局長、伊藤健康課長、富田企画政策課長、宮奈地域安全課長			
付議事項	1 新型コロナウイルス感染症対策について 2 各部連絡事項			
資料	1 新型コロナウイルスワクチン接種について 2 新型コロナ感染症への対応(日別集計) 3 新型コロナ感染症への対応(月別集計) 4 新型インフルエンザ等対策業務継続計画(修正素案) 5 基本的対処方針の変更等について 6 マスク着用の考え方の見直し等について 7 【新旧対照表】基本的対処方針新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針(令和5年2月10日変更)			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>(市長)</p> <p>今年の5月から、新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行するとの発表が政府からなされている。学校においては、基本的に卒業式ではマスクなしとのことであるが、子どもたちの個別の状況に応じて、何かを強制することのないようとの指針も出されている。このような状況では、自治体として、各課で現場の声に耳を傾け、どのような対応が必要かを考えていく段階にあるので、しっかりと取り組んでいただきたい。ウィズコロナ、アフターコロナの時代を見据えて、小金井市としてどう対応していくかを含めて、ご議論いただきたい。</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 新型コロナウイルスワクチン接種について</p> <p>(健康課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスワクチン接種状況については、資料のとおりである。 <p>(福祉保健部長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後のワクチン接種に関する細かな方針が示されていないため、来年度の動向が未確定である。情報が集まり次第、お示しさせていただきたい。 <p>(2) 新型コロナ感染症への対応について</p> <p>(健康課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症への対応実績は、資料のとおりである。前回会議で報告した以降 				

の1月28日から2月10日までの対策事業の実績である。東京都の感染者数は減少傾向にあり、そのことに伴って、各事業の実績も減少していると考えている。また併せて、各事業の月別の実績についてもお示しさせていただく。第8波のピークが11月、12月だったことから、全体として事業実績は減少してきている。

・新型インフルエンザ等対策業務継続計画（BCP）について説明させていただく。令和4年12月13日開催の本部会で計画の改定方針についてお示しさせていただいた。今回、方針に基づき、計画の修正素案が完成したため、お示しさせていただく。計画の主な改定内容としては、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえて、業務の継続体制や各課の業務優先区分の修正をおこなったところである。本件については、昨日、2月13日付けで庁内各課に確認のための依頼をさせていただいたので、協力をお願いしたい。今後、各課からの回答を修正素案に反映させ、令和5年3月中に改定する予定である。

・「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の変更等について」、説明させていただく。2月10日に開催された、国の新型コロナウイルス感染症対策本部において、「マスク着用の考え方の見直し等について」が決定されるとともに「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」が変更された。

・マスク着用の考え方の見直しについて概要を説明させていただくと、屋内でのマスク着用の推奨する取扱いを改め、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本とし、マスク着用が効果的である場面では着用を推奨する。また、円滑な移行を図る観点から、マスク着用の考え方の見直しは、3月13日から適用することとし、学校においては4月1日から適用としている。ただし、先ほど市長からも話があったが、4月1日より前に実施される卒業式におけるマスクの着用については、着用せず出席することを基本としている。そのほか、学校における対応や高齢者施設等における対応、留意事項、基本的感染対策について示されている。

・続いて、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の変更（新旧対応表）について説明させていただく。主な変更内容については、新型コロナウイルス感染症の分類が5類に位置づけられること、マスク着用の考え方が変更になったことである。

（市長）

・市として、改めて対応方針をまとめる必要はあるのか。

（福祉保健部長）

・これまで、市として対応すべき事項がある場合、本部でまとめ、何度か対応方針を出した経過がある。ここで国の対応方針が示されたことから、市としても検討すべきではあるが、必ず発出しなければならないものではない。今回の事務連絡にて、周知を図る方法もある。それぞれの部局毎で判断し、学校等における取り扱いは教育委員会、児童館や学童保育所、高齢者施設や障害者施設等の所管施設ごとに、周知していく方法もある。

(生涯学習部長)

・マスク着用の見直しについては、3月13日からの運用変更を見据えると、次回2月28日開催の本部までに、各部局でのマスク着用の見直しについての対応を検討し、たたき台を示す想定でよいか。

(子ども家庭部長)

・これまでの経過を踏まえると、それぞれの部局で状況は異なり、市として統一した方針をまとめることは困難である。各部局で対応を検討し、統一できるところは合わせる形で調整していく必要がある。

(学校教育部長)

・教育委員会においては、昨日発出された通知に基づき、対応を検討している。

(福祉保健部長)

・それでは、次回2月28日開催の本部にて、マスク着用に関する各部局の方針を資料として示すとともに、職員向けの統一方針についても作成いただきたい。また、感染症法上の2類から5類への移行の動きもあるので、可能な限り、厚生労働省等らの情報を集約し、お示しいただきたい。

(総務部長)

・マスク着用の見直しについては、これまでの流れを踏まえると、国の通知に基づき、東京都からも対応方針が示されることが予想される。職員向けの対応方針については、東京都の方針に基づき作成し、本部に報告のうえ、庁内に周知した経過がある。その他の施設での対応方針についても同様の流れで示されるように思う。東京都の動向を注視し、次回の本部に向け、職員向けの周知についても作成していきたい。

(議会事務局長)

・現時点では、職員向けのマスク着用に関する対応方針は、変更なしとの認識でよいか。

(総務部長)

・現時点では、これまでの方針のと通りの運用である。

(健康課長)

・本件に関しては、今後、東京都からもマスク着用に関する方針が情報提供されると思うので、各部に情報共有していく流れでよいか。

(総務部長)

・これまでも健康課から情報共有いただいていたので、その流れでよい。総務部においても知事の会見等から情報を収集しているので、引き続き、注視していく。

(教育長)

・子どもたちは、3年間マスク着用のうえでの学校生活をしてきた経過もあるので、なかなかすぐに外してもよいとの方針が示されても、対応は難しいと思う。校長会においても同様の考えで確認している。教育委員会におけるマスク着用の見直しに関する運用は、子どもたちに寄り添い、慎重に検討すべきと考えている。

(市長)

・さまざまな事情でマスクを外せない子もいるので、子どもたちに寄り添い、慎重に検討していく必要があると思う。

(福祉保健部長)

・繰り返しになるが、次回、2月28日開催の本部で、各部局の方針をお示しいただきたいので、検討をお願いします。

2 各部連絡事項について

(総務部長)

・職員の感染状況は、1月は33人、2月は、昨日の時点で2人である。インフルエンザとの同時流行の懸念もあったが、そのような状況はないようである。各部においては、引き続き感染予防をお願いしたい。

(以上)